

# 2009年(平成21年)4月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝  
経営管理ユニット長 寺本 昌弘

# 留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『財務・IR情報』に掲載します。

URL <http://www.softs.co.jp/ir/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2009年6月12日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

# アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 平成21年4月期の状況
4. 今後の戦略
5. 平成22年4月期の業績見通し
6. トピックス
7. 質疑応答



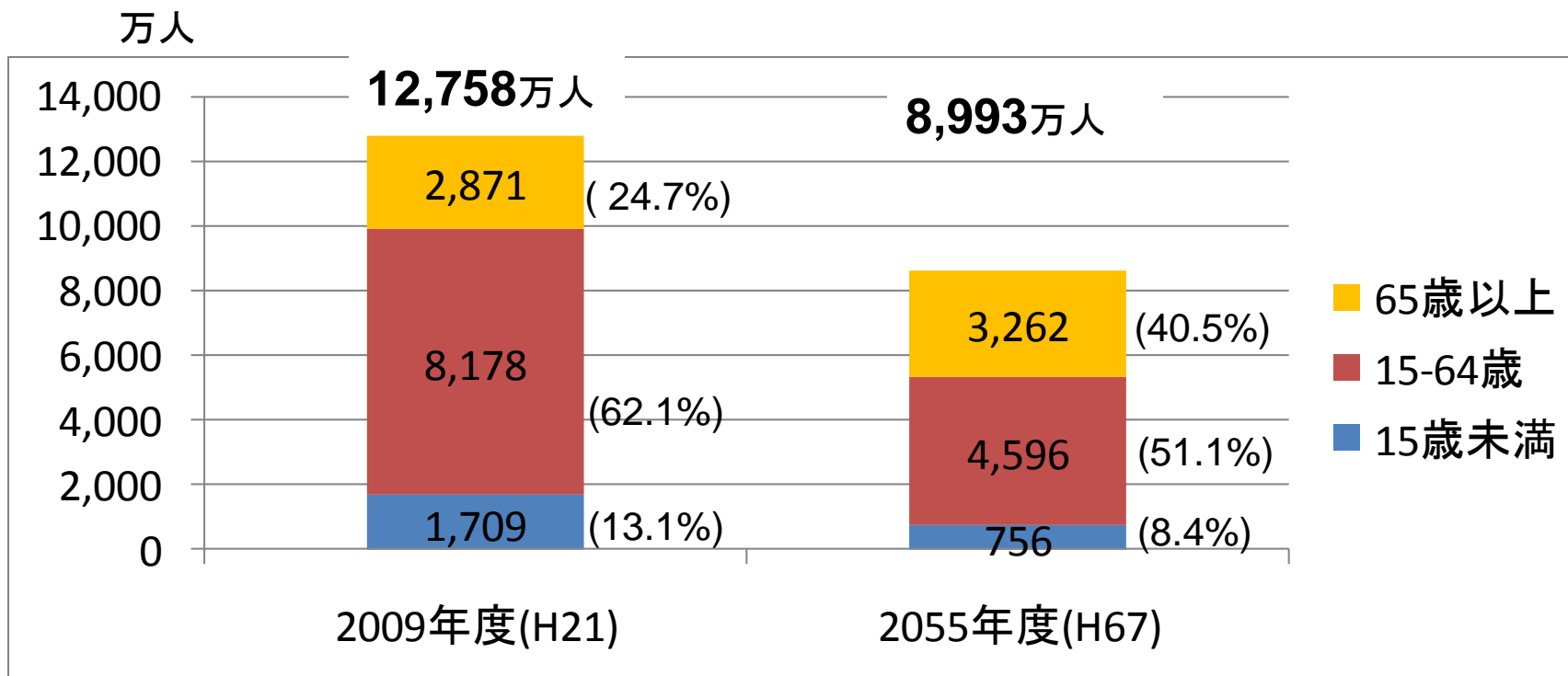
# 1. 会社紹介

# 会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原1-7-38（支社・支店なし）  
本社：大阪市淀川区宮原4-2-30（平成20年5月19日移転）
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 443名（平成21年6月12日現在）
- 資本金 847百万円（平成16年2月20日 ヘラクレス上場）
- 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 222ユーザー <電子カルテ 公的等：42民間：180>（H21.6現在）
- 特徴
  - ①専門特化
  - ②自前主義
  - ③創造価値
 ⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

## 2. 業界動向

# 人口構成の変化(45年後予想)



# 医療制度改革

- 超高齢化時代への突入、医療費の増加、経済の低迷による保険料の伸び悩みなど、医療保険は各制度赤字計上。
- 平成18年には、サラリーマンの医療費負担(2割⇒3割)の引き上げ、70歳以上高所得者の窓口負担(2割⇒3割)の引き上げ実施等。
  - 安心・信頼の医療の確保と予防の重視
  - 医療費適正化の総合的な推進
  - 超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現



# 医療制度改革概要

## ■ 医療費適正化

短期的対策として自己負担の見直し(前頁)、  
中長期対策として健診の見直し。

## ■ 後期高齢者医療制度

75歳以上を対象とした医療制度を創設

## ■ 医療保険者の再編統合

国保財政の基盤強化、政管健保の公法人化など

# 医療情報システム構築 -1-

## ■ 現状

病院内外にはパソコンが設置されている。

## ■ ITシステムの課題

- ・全ての業務に影響する。
- ・利用方法の多様化。
- ・院内のシステムを一度にリプレイスすることは難しい。

# 医療情報システム構築 -2-

## ■期待されるシステム

### ・ 治験システム

治療試験、効験。精度の高い治療を可能とすることが望まれる。

### ・ 介護システム

高齢化社会をむかえ、大きなテーマ。

### ・ 在宅医療システム

リアルタイムな情報共有が求められる。IT化へ。

⇒ 地域医療ネットワークの構築へ

# 医療情報システム構築 -3-

## ■ 診療報酬オンライン請求

2008年度より段階的に義務化。

## ■ DPC病院拡大

1,000病院まで拡大(予定<2012年度>より早く)。  
効率的な診療へ。

## ■ 特定健診・特定保健指導

2008年4月より実施。

# 業界の状況まとめ

## ■ 医療機関のIT化

IT化を行うことは、地域の基幹病院として位置づけられる可能性が高く、厳しい経営環境のもと差別化を図れる。今後の病院経営においても差別化も含め必須となる。

## ■ 医療情報システム業界は

2011年度（平成23年度）を目標とする社会保障カード（仮称）の検討をはじめ、医療・介護の将来的なサービスの実現にもつながると期待されているため、医療機関のIT化は必須となる。

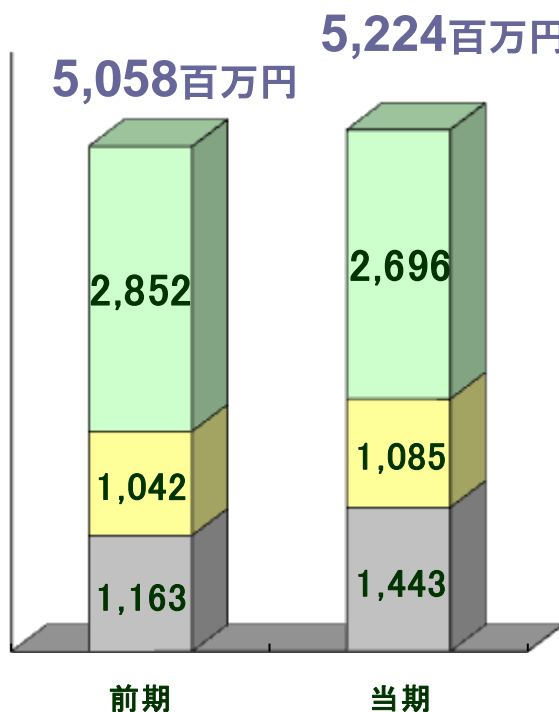
### 3. 平成21年4月期の状況

# 業績の概要(前期比較)

【単位:百万円】

	H20/4	構成比	H21/4	構成比	増減率
売上高	5,058	100.0%	<b>5,224</b>	100.0%	3.3%
売上総利益	1,764	34.9%	<b>1,748</b>	33.8%	▲0.9%
営業利益	1,179	23.3%	<b>847</b>	16.2%	▲28.2%
経常利益	1,175	23.2%	<b>840</b>	16.1%	▲28.6%
当期純利益	692	13.7%	<b>450</b>	8.6%	▲35.0%

# 売上高構成比推移(前期比較)



## 【対前期増減】

+166百万円 (+3.3%)

ソフトウェア売上高

▲ 156百万円 (▲ 5.5%)

ハードウェア売上高

+42百万円 (+4.1%)

保守売上高

+280百万円 (+24.1%)

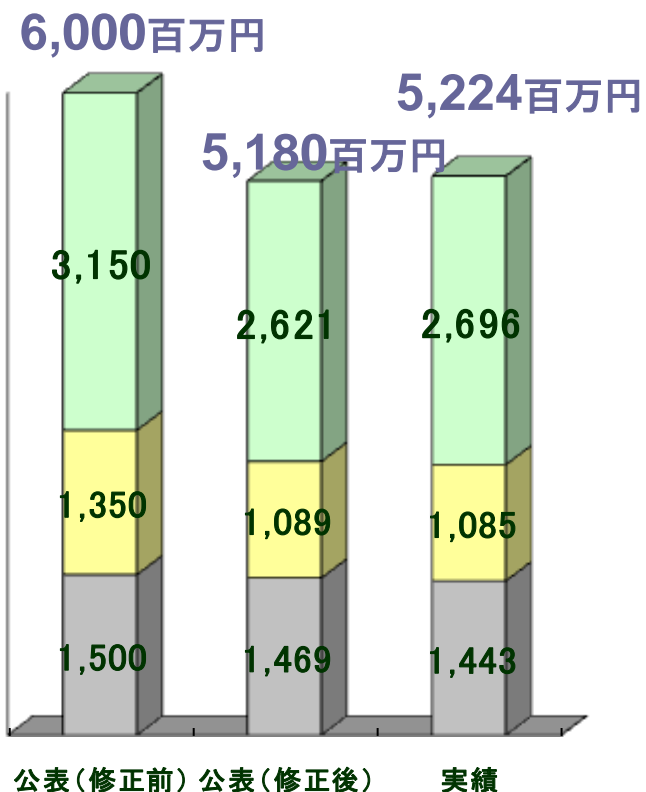


# 業績の概要(公表数値比較)

【単位:百万円】

	公表数値		修正前 構成比	H21/4	構成比	修正前 増減率
	修正前	修正後				
売上高	6,000	<b>5,180</b>	100.0%	<b>5,224</b>	100.0%	▲12.9%
売上総利益	2,221	<b>1,676</b>	37.0%	<b>1,748</b>	33.5%	▲21.3%
営業利益	1,341	<b>790</b>	22.4%	<b>847</b>	16.2%	▲36.8%
経常利益	1,347	<b>780</b>	22.5%	<b>840</b>	16.1%	▲37.6%
当期純利益	785	<b>420</b>	13.1%	<b>450</b>	8.6%	▲42.7%

# 売上高構成比推移(公表数値比較)



## 【対公表数値(修正前)増減】

▲ 775百万円 (▲ 12.9%)

ソフトウェア売上高

▲ 453百万円 (▲ 14.4%)

ハードウェア売上高

▲ 264百万円 (▲ 19.6%)

保守売上高

▲ 56百万円 (▲ 3.8%)

# 対公表数値比(修正前)が減収減益の理由

## 売上高の主な減少要因

- 失注及び案件の小規模化
- 受注済みシステムの稼働延期(ソフト)

## 利益の主な減少要因

- 社員関連費用の増加(販管費)
- 金融市場低迷による評価損(営業外費用)

# 上期稼動病院

No	稼動月	病院名	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	5月	天心堂へつぎ病院	173	導入済	●
2	5月	大山病院	110	導入済	●
3	6月	重井医学研究所附属病院	200	導入済	●
4	7月	石巻市立病院（公的）	206	導入済	●
5	7月	フジ虎ノ門整形外科病院	211	●	—
6	7月	川島整形外科病院	93	●	●
7	8月	宇治徳洲会病院（徳洲会グループ）	375	●	●
8	8月	諏訪中央病院（公的）	362	導入済	●
9	8月	藤井政雄記念病院	120	導入済	●
10	10月	千里中央病院	400	●	—
11	10月	荻窪病院（セコムグループ）	217	●	●
12	10月	米子東病院	95	●	●

# 上期稼動病院

No	稼動月	病院名	病床数	オーダーング	e-カルテ
13	10月	いずみの病院	238	●	●
14	10月	北病院	52	導入済	●

# 下期稼動病院

No	稼動月	病院名	病床数	オーダーリング	e-カルテ
15	11月	葛西循環器脳神経病院	155	●	●
16	12月	興生総合病院	323	●	—
17	12月	佐野記念病院	85	●	●
18	1月	済生会富山病院	250	●	●
19	1月	佐藤第一病院	130	●	—
20	1月	(三重県の病院様)	217	●	●
21	2月	寒河江市立病院	125	●	—
22	2月	茅ヶ崎徳洲会病院 (徳洲会グループ)	419	●	●
23	2月	神戸協同病院	199	●	—
24	2月	札幌徳洲会病院 (徳洲会グループ)	301	導入済	●
25	3月	三沢市立三沢病院	220	●	—
26	3月	緑ヶ丘病院	60	●	—

# 下期稼動病院

No	稼動月	病院名	病床数	オーダーリング	e-カルテ
27	3月	新行橋病院	246	●	●
28	4月	成尾整形病院	103	●	●
29	4月	A病院(公的)	138	●	●
30	4月	稲次整形病院	48	●	●
31	4月	久我山病院	199	●	—

<グループ病院の累計数> 平成21年4月末現在  
 徳洲会:29病院(全64病院)、セコムグループ:8病院(15病院)

## 4. 今後の戦略



# 効率的な人材活用

当社事業の根本・・・

自社で一貫・完結する。

開発、営業、導入、保守業務を効率化する。

自社の人材の活性化  
⇒業務の効率化へ直結

# 今後の戦略＜組織＞ ※次頁参照

- ユニット体制構築 ～効率的な組織作り～  
 専門分野を持たせ、計画的な異動により知識の幅を持たせる。

看護ユニットと企画ユニットを新設＜第41期＞

スペシャライズドゼネラリストを目指す

「人材の活性化」

「システム、サービスの品質向上」

「対応の迅速化」

# 組織体制

※2009年6月12日現在

部門名	機能	人数
電子カルテ・オーダーユニット	開発(カスタマイズ、バージョンアップ等)、導入、保守	92
医事ユニット	開発(カスタマイズ、バージョンアップ等)、導入、保守	61
サブシステムユニット	開発(カスタマイズ、バージョンアップ等)、導入、保守	51
<b>新</b> 看護ユニット	開発(カスタマイズ、バージョンアップ等)、導入、保守	41
顧客ユニット	システム導入、ユーザー支援等	119
営業ユニット	新規営業、営業支援	29
<b>新</b> 企画ユニット	企画、情報システム、サーバーメンテナンス	28
経営管理ユニット	経理・財務、人事、総務、IR、採用、教育	20
内部監査室	内部監査	1
顧問	営業、開発サポート等	1
【従業員計】		443
役員		4
【社員合計】		447

# 今後の戦略＜採用教育・社員支援＞

## 経営戦略に適合した人材採用・育成計画

計画的な人材採用(新卒50名＋キャリア)

体系的な人材教育・研修の充実

## 社員満足度の向上

働きやすい就労環境の整備

社員間のコミュニケーションイベント支援

# 今後の戦略＜開発＞

## 新版eカルテシステム

- 医療従事者の操作性・検索性向上
- 原価計算（非請求項目含む）
- 経営分析機能（統計）
- オフライン、無線LAN機能の充実      etc

## 開発状況

- 検証作業中＜延長して継続＞

# 今後の戦略＜営業＞

## 大規模案件・グループ病院への計画導入

- 大規模病院への営業活動。
- グループ病院への導入計画を継続。

## リプレイス市場へ積極参入

- 「病院見学会」等活用し、顧客満足度の低い他社ユーザー等のリプレイス需要の掘り起こし。

## 営業戦力強化

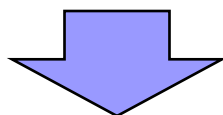
- 新規営業担当に現場を熟知している導入経験豊富なSEを配置。
- ユーザーとのパイプ及び顧客営業力を強化。
- 顧客満足向上とともに新規病院の開拓。

# 今後の戦略<ユーザーコミュニケーション>

## 全国より参加(情報交換機会)

一層のユーザーとの密着度を上げるとともに、ユーザー同士のコミュニケーションの場を提供する。

- ユーザー会
- ユーザー看護部会
- システム管理者講習
- システム説明会
- 院長会



顧客満足度の向上

システムの方角性が一致

市場における競争力の向上

**「緊張感のある共存共栄」** の関係を構築

## 5. 平成22年4月期の業績見通し



# 業績見通し

【単位：百万円】

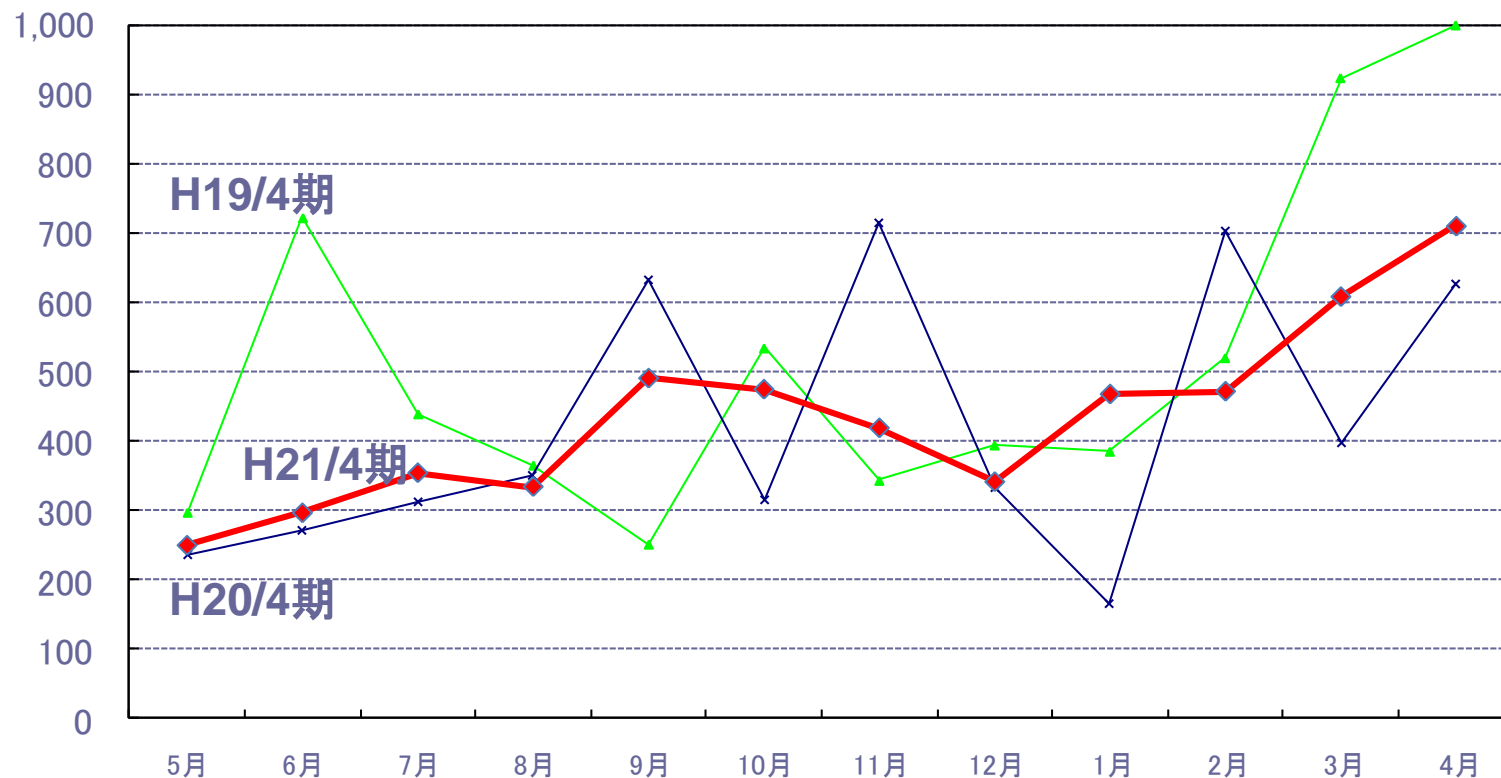
	H21/4期 実績	H22/4期 見通し	増減額	増減比
売上高	5,224	<b>8,000</b>	+2,775	+53.1%
売上総利益	1,748	<b>2,613</b>	+864	+49.4%
営業利益	847	<b>1,603</b>	+755	+89.2%
経常利益	840	<b>1,609</b>	+768	+91.5%
当期純利益	450	<b>982</b>	+531	+118.2%
1株当期利益	83円59銭	<b>183円41銭</b>	—	—

# 売上高の内訳

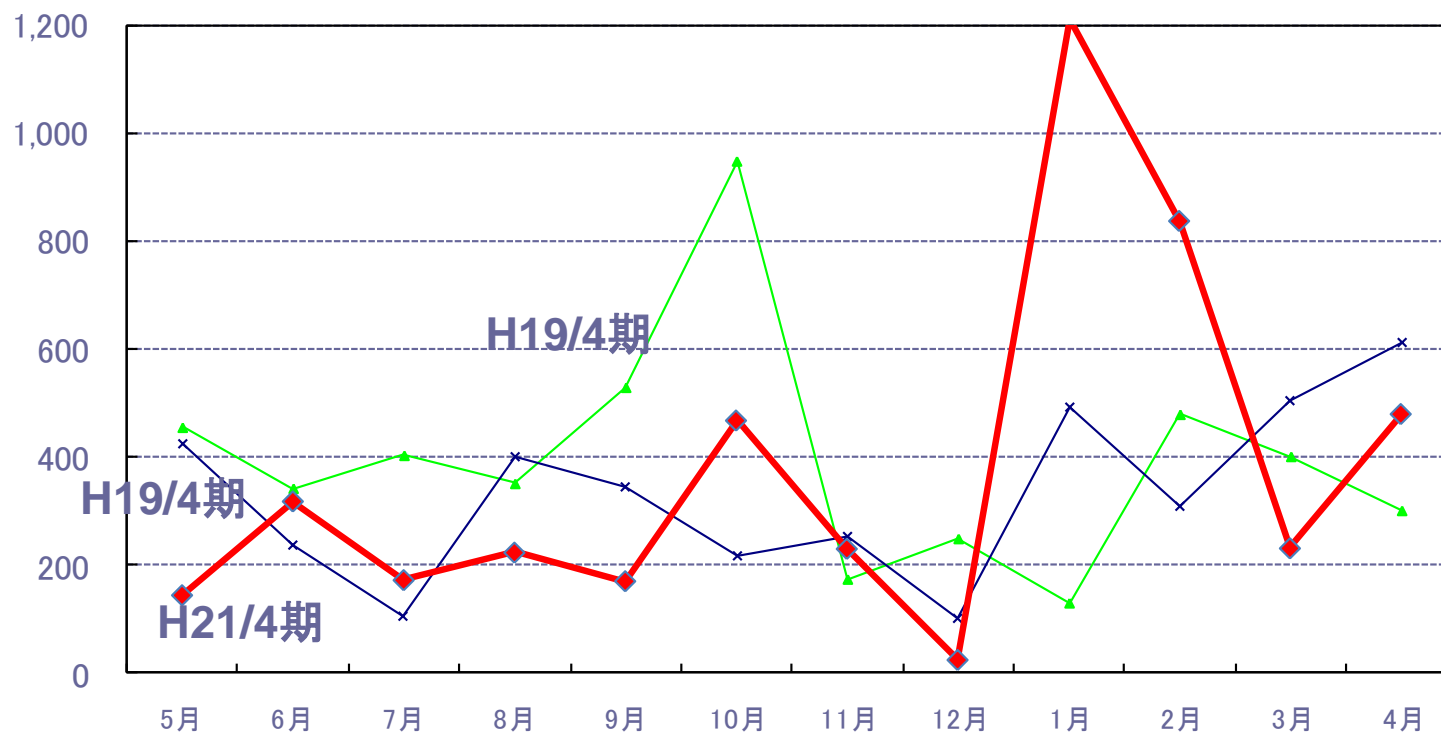
【単位：百万円】

	H21/4期 実績	H22/4期 見通し	増減額	増減比
ソフトウェア	2,696 (51.6%)	<b>3,800</b> (47.5%)	+1,103	+40.9%
ハードウェア	1,085 (20.8%)	<b>2,600</b> (32.5%)	+1,514	+139.6%
保守	1,443 (27.6%)	<b>1,600</b> (20.0%)	+156	+10.8%
<売上高>	5,224	<b>8,000</b>	+2,775	+53.1%

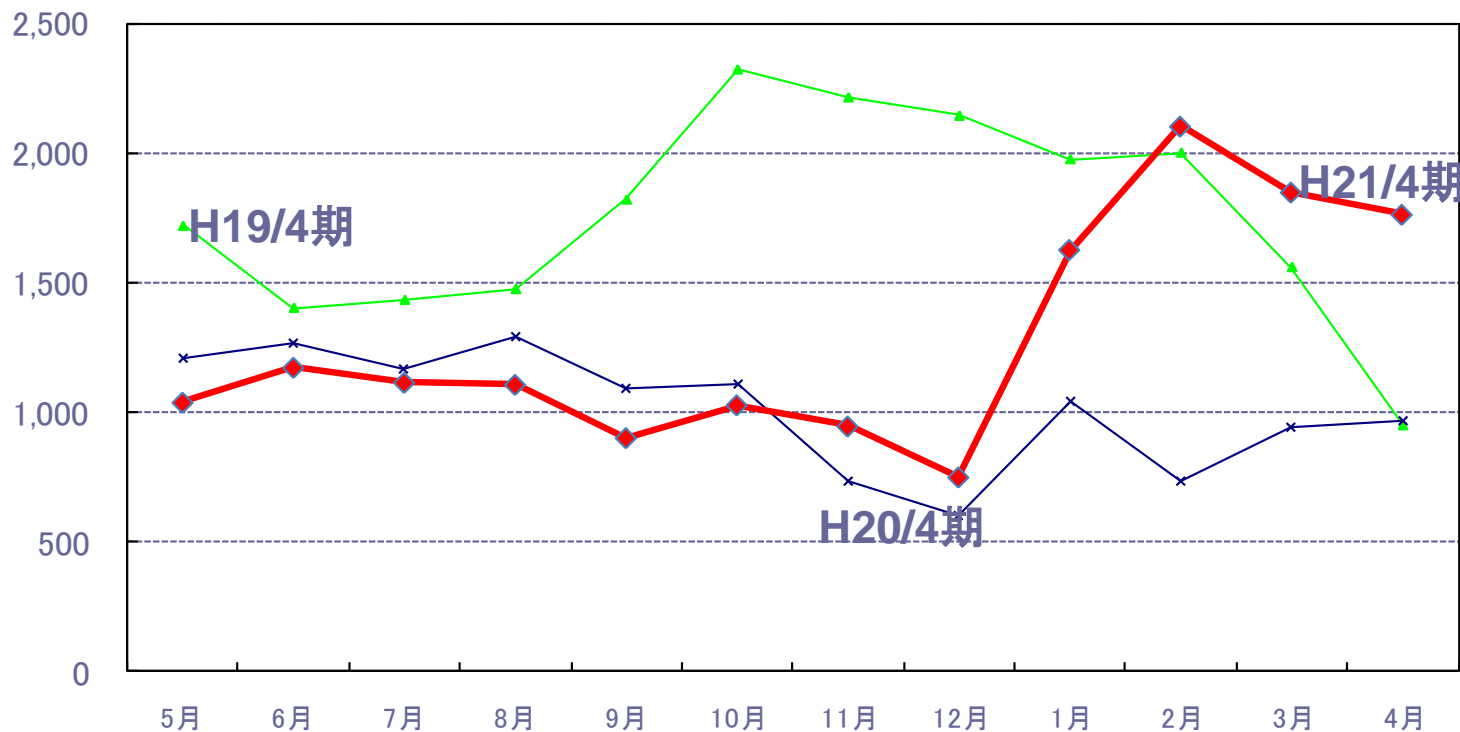
# 月次売上高の推移



# 受注高の推移



# 受注残高の推移



## 6. トピックス

## 1) 新本社ビル移転

### <目的>

- ・ 今後の業容拡大に要する人員(毎期50名の増員予定)及び設備増強に伴い、必要となる収容スペースの確保
  - ・ 就労環境の改善により生産性の向上を図る
- ⇒収容人員 新本社ビル:500名、本店ビル:300名
- ※今後の採用計画では、1年程度で新本社ビルが手狭になる見込み。  
それまでは、サーバ機器等の保管やミーティングスペースとして利用予定。

## 2) 自己株式の取得

### <結果>

発行済株式総数	5,488,000株
今回取得自己株式数	51,600株
保有自己株式数	133,915株

(注)保有自己株式数には、単元未満株式の買取請求により取得した自己株式を含んでいます。

### <参考>

取得する株式の総数	70,000株(上限)
取得価額の総額	50百万円(上限)
取得の期間	平成20年11月4日～平成20年12月26日

# 7. 質疑応答



ご清聴ありがとうございました。

## 株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

経営管理ユニット長 寺本 昌弘